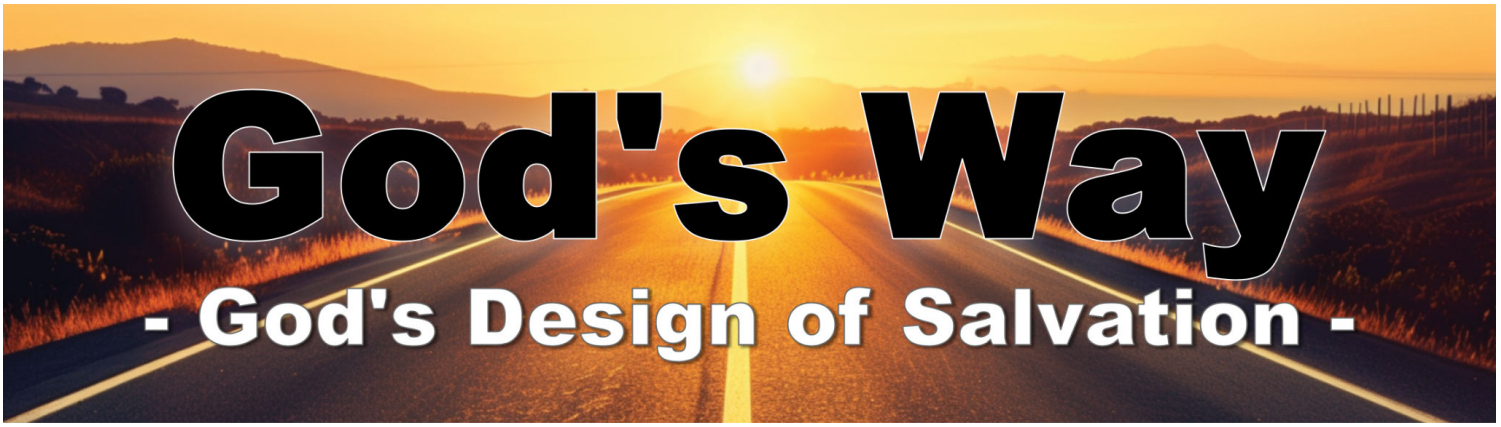


Week of June 14, 2026 - Do You Judge Others? Small Group Lesson 5

知り合う

これまでに人、食べ物、もしくはある状況について、完全に誤解してしまっていた経験はありますか？ 実際に体験したり、すべての事実が明らかになったりしたことで、『自分の勘違いだった』と気づかされた体験を分かち合ってください。

聖句　ローマの信徒への手紙 2:1-16（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

1 だから、すべて人を裁く者よ、弁解の余地はありません。あなたは他人を裁くことによって、自分自身を罪に定めています。裁くあなたも同じことをしているからです。2 私たちは、神の裁きがこのようなことを行う者の上に正しく下ることを、知っています。3 このようなことを行う者を裁きながら、自分でも同じことをしている者よ、あなたは、神の裁きを逃れられると思うのですか。4 それとも、神の慈しみがあなたを悔い改めに導くことも知らないで、その豊かな慈愛と忍耐と寛容とを軽んじるのですか。5 あなたは、かたくなで心を改めようとせず、怒りの日、すなわち、神の正しい裁きの現れる日に下される怒りを、自分のために蓄えています。6 神はおのおのの行いに従ってお報いになります。7 耐え忍んで善を行い、栄光と誉れと朽ちないものを求める者には、永遠の命をお与えになり、8 利己心に駆られ、真理ではなく不義に従う者には、怒りと憤りを下されます。9 すべて悪を行う者には、ユダヤ人はもとよりギリシア人にも、苦しみと悩みがあり、10 すべて善を行う者には、ユダヤ人はもとよりギリシア人にも、栄光と誉れと平和があります。11 神は人を分け隔てなさいません。12 律法なしに罪を犯した者は、律法なしに滅び、また、律法の下にあって罪を犯した者は、律法によって裁かれます。13 律法を聞く者が神の前で正しいのではなく、これを行う者が義とされるからです。14 たとえ律法を持たない異邦人も、律法の命じるところを自然に行えば、律法を持たなくとも、自分自身が律法なのです。15 こういう人々は、律法の命じる行いがその心に記されていることを示しています。彼らの良心がこれを証ししています。また、互いに告発したり弁護したりする彼らの議論も、証ししています。16 このことは、私の福音によれば、神が人々の隠れた事柄をキリスト・イエスを通して裁かれる日に、明らかになるでしょう。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか？

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 1〜3節によると、私たちが他人を裁くとき「弁解の余地がない」のはなぜですか? 他人を裁くことは、実際には自分自身に何をもたらしているのでしょうか?

2. 4〜5節において、神の慈愛、忍耐、そして寛容の本当の目的は何ですか？ 私たちが他人を裁くことに夢中になっているとき、神の沈黙をどのように勘違いしてしまいがちでしょうか?

3. 「耐え忍んで善を行う」人々と、「利己心に駆られる」人々の特徴と、それぞれの結末（運命）は何ですか？（6〜8節）

4. 14〜16節によると、書かれた律法を持っていなかった人々を、神はどのように裁かれるのでしょうか？ 神の公平な裁きにおいて、人間の「良心」はどのような役割を果たしていますか？

分かち合い

話し合い　その１：

タケシ牧師は、みんなでテストのカンニング（不正行為）をしていたが、意図的なミスをせずに満点を取った一人の学生に対して激怒したというイラストレーション（例話）をシェアしました 。この物語は、私たちが他人の罪を裁くときの偽善をどのように表していますか？ あなた自身も抱えている弱さなのに、他人の同じ弱さを見てすぐに裁いてしまった経験はありますか？

話し合い　その2：

私たちは、過ち（罪）の中にあるキリストにある兄弟姉妹を「回復へと導く」ように召されていますが、それは決して相手を裁く心（批判的な精神）であってはなりません。では、批判するのではなく、「心からの謙遜と愛」をもって相手に寄り添うとは、具体的にどのような姿勢や行動を指すのでしょうか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。